

「地産地消で健康フェア」を初めて開催！

事業実施主体：都城市（宮崎県）

- 都城市は、市街地を取り囲むように広大な農地があり、その郊外には畜産地帯や山林が広がりを見せており、それら肥沃な大地から生み出される恵みは日本の食料供給基地とも言える潤沢さを誇っている。
- 一方、市町村別農業産出額日本一のふるさとであるが、地産地消や地元食材を生かした郷土料理に関心がある市民の方の割合が低く、特に10～30代の郷土料理を代々伝えていきたい人の割合は全体の16%（R3実績）と極めて低い。また、R3都城市特定健康診査結果によると、生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症等）発症の原因である肥満者（BMI25以上 31.4%）や高血糖者（HbA1c5.6%以上 25.2%）の割合が高いことが課題である。
- そのため、市民の方に地産地消や郷土料理を紹介するとともに、生活習慣病の予防や改善に関心をもっていただくための食育という視点で地産地消イベントを実施。

宮崎県



都城市

【取組の内容】

○地産地消ブースで地場産物の販売

- ・ 農業高校やJA、道の駅都城等が地元の豊富な食材及び6次化商品を販売しながら紹介



6次化商品の販売

○健康ブースでベジチェック

- ・ 機器を使った野菜摂取量の測定
- ・ 栄養管理士との食生活相談

○大学生考案のアレンジレシピと郷土料理の無料配布

- ・ 学生と食生活改善推進委員で調理を実施
- ・ 宮崎の郷土料理「煮しめ」を炊き込んだ「アレンジおにぎり」の無料配布



大学生考案のレシピ集

○親子で調理実習（参加者は7組14名）

- ・ 郷土料理（※がね）を南九州大学生がアレンジ提案。食生活改善推進員指導のもと調理
- ※ がね（方言でカニのこと）とは、南九州でよく食べられるサツマイモを使った家庭料理。その形がカニに似ていることからそう呼ばれている。



郷土料理アレンジおにぎり

【取組の成果】

- イベントに、約600名の来場者
 - 来場者からは、
 - ・ 地元野菜の販売をもっと増やしてほしい。（すぐに完売したため）
 - ・ ベジチェックと野菜クイズから野菜の摂取量を意識付けすることができた。
 - ・ 今後も改善しながら続けてほしい。
- 等の意見があり、地産地消や郷土料理への関心を深めるとともに食と健康を意識づけることができた。

【事業目標】

産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

- イベントでのアンケートの結果、食品を選ぶ時、産地を意識して選ぶ割合が6割となり、意識の高さを感じた。

